

で遠くなってしまったなどのため余り採集に行けなかったことによる。

本年の採集品には特筆すべきものはないが、異変としては毎年6月初旬に必ずみられたキアシドクガの群飛がなくなってしまったことがあげられる。付近に食草が無くなったか、天敵が多数発生したか、食草の衰弱のため発生できなくなったかではないだろうか。淋しい限りである。植込みのツゲには、ツゲのメイガが多かった。また、1987年に採集して以来採れなかった、外来種のスジツグを、5月に数頭目撃し、うち1頭を採集した。

宝塚大橋まで従来は2Km弱の所に住んでいたのが、転居のため4Km強になってしまったが、コマツキヤサンガメにかなりの珍品を得たことが励みになっており、これからも、ここでの採集に精を出したい。

IV. 参考文献

- 講談社 日本産蛾類大図鑑
北隆館 原色昆虫大図鑑 I
保育社 原色日本蛾類図鑑

宝塚市内におけるヨコヅナサシガメ の採集記録

加藤 信一郎

筆者は自宅の庭(宝塚市清荒神)で、30-V-1975, 1ex. 16-V-1982, 1ex. を採集し所蔵している。

南方系のヨコヅナサンガメは兵庫県下でも各地で記録されており、現在では特に珍しいものではないが、宝塚市の市街地では、1975年(1♂)、1984年(頭数不明)が記録されているだけであるので(高橋, 1981, きべりはむし), 参考までに報告した。